

広島市立大学大学院情報科学研究科博士前期課程のアドミッション・ポリシー及び 入学者選抜方法等の変更について

情報科学研究科博士前期課程では、2025年度に実施する入試からアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を変更します。これに伴い選抜方法等を以下のとおり変更します。

なお、詳細については、各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。

1 アドミッション・ポリシーの変更について

次のとおり、アドミッション・ポリシーを変更します。

【アドミッション・ポリシー】

情報科学研究科（博士前期課程）では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、過去の経歴にとらわれず、広く国内外から次のような多様な人物を求めています。

（求める人物像）

1. 情報科学・情報工学の基礎となる高い学力と教養を備え、高度な専門性と学際的な視野を持って地域や国際社会に貢献する意欲がある人
2. 問題解決に必要な論理的思考力、探求心、挑戦し続ける忍耐力および向上心がある人
3. 他人の考えを理解しながら、自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション能力がある人
4. 技術者・研究者としての良識や倫理観を持つ人

2 選抜方法等の変更について

各入試区分(1)～(4)を次のとおり変更します。

全入試区分で出願書類とする「研究計画書」は、希望する指導教員との相談結果を踏まえて作成してください。また、情報科学・情報工学に関連する資格・検定試験の成績証明書等を任意提出できます。提出された成績証明書等は面接時の参考資料とします。

(1) 推薦入試

これまで出願書類としていた「志望理由書」を「学修報告書」及び「研究計画書」に置き換え、これらを評価の対象とします。

【変更後】

（選抜方法）出願書類及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

選抜方法等	内 容	配点
出願書類	学修報告書，研究計画書	100点
面 接	出願書類を参考にして15分程度の個人面接を行います。	200点

(2) 一般入試（第1回募集）

- ① 出願書類に「学修報告書」及び「研究計画書」を加え、これらを評価の対象とします。
- ② 『数学』と『データ構造とアルゴリズム』については、「筆記試験」から「口頭試問※」に変更します。

【変更後】

(選抜方法) 出願書類、外国語、口頭試問及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

選抜方法等	内 容	配点
出願書類	学修報告書, 研究計画書	100点
外国語	英語外部検定試験 (TOEIC®L&R, TOEFL®iBT, IELTS) の成績を評価します。	100点
口頭試問	『数学』と『データ構造とアルゴリズム』の2科目についてそれぞれ複数の問題を提示します。各科目から1問を選択し、合計2問を解答してください。時間は15分程度です。	100点
面接	出願書類を参考にして15分程度の個人面接を行います。	200点

(3) 一般入試（第2回募集）

- ① 出願書類に「学修報告書」及び「研究計画書」を加え、これらを評価の対象とします。
- ② 面接では、『数学』と『データ構造とアルゴリズム』の「口頭試問※」及び「プレゼンテーション」を加えて評価の対象とします。

【変更後】

(選抜方法) 出願書類、外国語及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

選抜方法等	内 容	配点
出願書類	学修報告書, 研究計画書	100点
外国語	英語外部検定試験 (TOEIC®L&R, TOEFL®iBT, IELTS) の成績を評価します。	100点
面接	面接は、出願書類を参考にして行います。口頭試問及びプレゼンテーションを含めて30分程度行います。 口頭試問では、『数学』と『データ構造とアルゴリズム』の2科目からそれぞれ複数の問題を提示します。その中から1問を選択して解答してください。時間は7分程度です。 プレゼンテーションでは、卒業論文等を含む学修成果を中心に発表してもらいます。時間は10分程度です。	300点

(4) 社会人特別入試（第1回募集・第2回募集）

これまで出願書類としていた「業務実績書」を「実績報告書」に置き換えるとともに、「研究計画書」を加え、これらを評価の対象とします。

【変更後】

(選抜方法) 出願書類及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

選抜方法等	内 容	配点
出願書類	実績報告書, 研究計画書	100点
面接	出願書類を参考にして20分程度の個人面接を行います。	200点

※ 口頭試問について

一般入試で実施する「口頭試問」のサンプル問題を2025年6月に本学ウェブサイトで公表します。

「口頭試問」では解答に至るまでの思考の過程や関連する基礎知識を確認します。出題範囲の変更はありません。